

個票 6 希少動物の生息環境や生活史などを踏まえた生息環境の保全・復元・創出及び移殖方法の検討〔森 2(1)①3-1〕

(2011年作成)

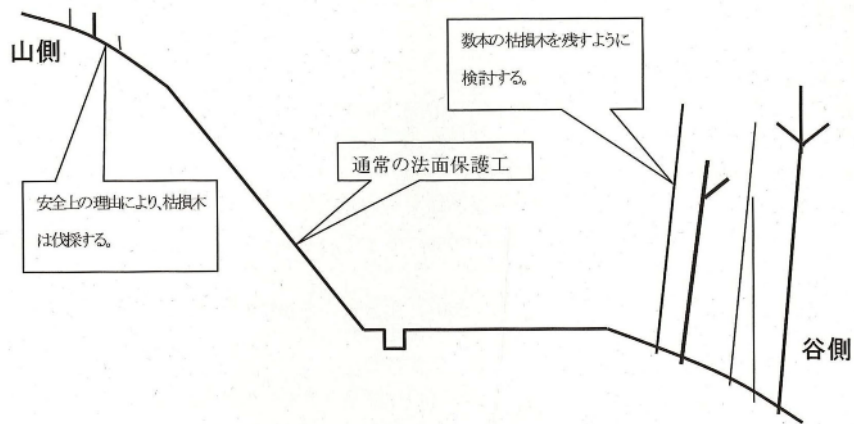
配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の保護・保全
配慮事項	希少種の保全		
配慮事例	希少動物の生息環境や生活史などを踏まえた生息環境の保全・復元・創出及び移殖方法の検討		
内容	<p>●希少動物の生息環境や生活史などを踏まえた生息環境の保全・復元・創出及び移殖方法の検討</p> <p>【解説】</p> <p>事業により希少動物の生息環境に影響を与える恐れがある場合には、生息環境の特性や対象となる希少動物の生活史を踏まえて、できるだけその影響を軽減するとともに、希少動物の生息環境を向上させるような工夫をすることが望まれます。</p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <p>●希少動物の生活史を考慮した施工時期の設定</p> <p>事業を行う際には、希少種の生息環境特性や生活史を踏まえた施工時期等を設定することで、希少種の繁殖への影響を軽減するよう考慮します。</p> <p>●工法の工夫による生息場所の創出</p> <p>キツツキの生息場所となる枯損木を残すなど、施工時に希少動物の生息環境に適した環境の創出に努めます。</p> <p>【事例】</p>		
	<p>【場所】 兵庫県香美町小代区新屋</p> <p>【環境配慮の内容と方法、工法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>香美町小代区のブナ植栽地は、草原性希少種のウスイロヒョウモンモドキの代表的な生息地となっている。ウスイロヒョウモンモドキは夏季に草本の葉の裏に産卵することから、植栽木のための保育作業（下刈り）を産卵期をはずして実施することで、繁殖への影響を回避している。</li> </ul>		
			
<p>出典：1</p>			

**【場所】**

兵庫県養父市関宮 林道瀨川・氷ノ山線

**【環境配慮の内容と方法、工法】**

- ・ 枯損木を残す意義を看板などにより啓発することで、地域住民との合意形成を図りながら、環境に配慮した林道を目指すことを提案している。
- ・ 松食い虫による被害で枯損したアカマツ林を林道が通過する場合には、その区間の伐開にあたっては、キツツキ類の採餌場や営巣場所に利用できるように、枯損木を伐採するのではなく、安全面を考慮したうえで数本残す。



出典:2

留意点

- ・ 対象となる希少動物の生息環境の特性や生活史を把握したうえで、効果のある配慮を採用することが望めます。
- ・ 希少動物の保全方法については、学識者の指導を仰ぐことも必要です。

参考資料

- 1 「虫屋が実践する昆虫の保全 7 兵庫県鉢伏高原のウスイロヒョウモンモドキ」近藤伸一，月刊むし
- 2 「瀨川・氷ノ山林道」周辺の自然環境調査」兵庫県但馬高原林道建設事務所